

## 京都造形芸術大 二条城ライトアップ

復興願い作品制作

京都造形芸術大の学生が制作した作品が、3月23日から4月15日にかけて二条城でライトアップされている。今年は「歩み」をテーマに、竹を用いた足元灯やオブジェなどで城内を幻想的に演出している。

# FOCUS

追いかける。大学生。

「めっちゃきれい」と点灯作品を見た見物客からは歓声。二条城には、親子連れから着物のカップルまで多くの人が訪れている。

「毎年開催のこの行事、京都造形大の学生が関わって、今年で11年目を迎える。その内2年間は企業が作品制作を行っていたが、学生制作の方が多く集客していたこともあり、再び京都造形大が制作に携わるようになった。作品に使う竹の切り出しから案出し、制作、設置に至るまで全て学生が行った。

京都造形大の作品は4カ所



に設置、そのうち3カ所それぞれ種類の異なる足元灯が城内を彩っている。なかでも、桜の園に設置された竹製のぼんぼりは、繊維の強い竹を湾曲させるため、苦勞も多かったという。ぼんぼりは「先を照らす」明かり。制作に携わった今井麻美子さん（京都造形大・2年）は「東日本大震災から1年経った今、足元から少しずつ照らしていけたら」と話す。

スタッフの1人、渡会芽衣さん（京都造形大・3年）は「アンケートでも、たくさんの人からきれいだという声を

# 復興への道照らす

聞けて嬉しいですよ」とほほ笑んだ。また、城内の中央で展示されているオブジェは、テーマの「歩み」を掘り下げて作られた。脈脈・孔雀・一步とそれぞれ名付けられたこの作品は、どれも東日本大震災の復興への願いが込められている。

足型カードに来場者のコメントを書き、屏風に貼って初めて完成する、観客参加型の作品「一步」では、「毎日笑顔」「Peace in the world」といったメッセージが並んだ。ドイツから訪れた女性客は足元灯を見ながら「すごくきれいで、こんなアイデアもあるんだと思います」と感動していた。（聞き手＝野口咲綾）

## UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 ダイニホンビル4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) [info@unn-news.com](mailto:info@unn-news.com)

### FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会  
同志社大学 PRESS 編集部  
NEWS 立命通信社  
関学新月通信社  
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部  
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部  
京都女子大学藤花通信編集部  
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです